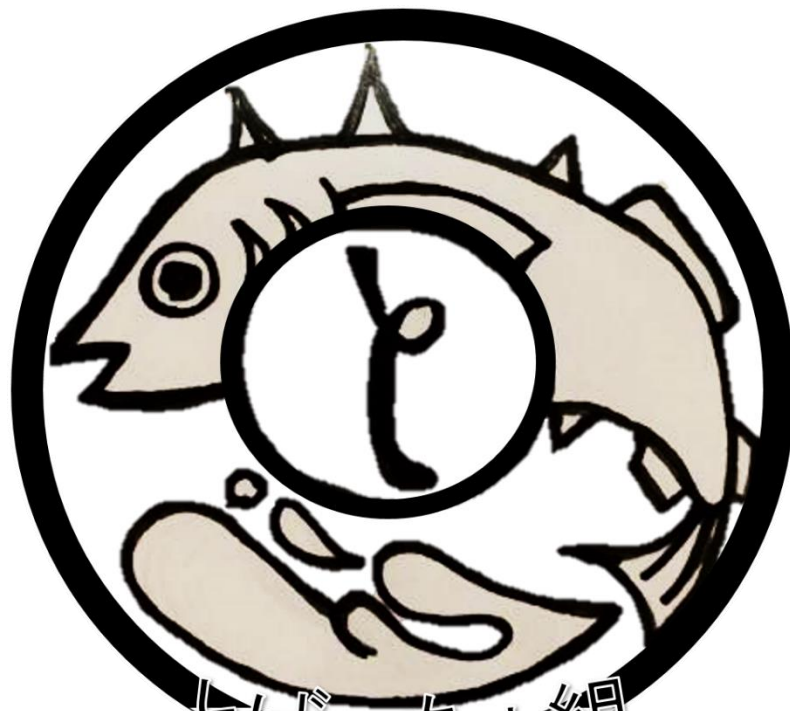


平成 28 年度

「大学生の力を活用した集落復興支援事業」

実証実験報告書



とげっちょ組
～地域活性化サークル～

国立大学法人福島大学

とげっちょ組～地域活性化サークル～

平成 28 年 2 月

目次

1. はじめに.....	2
2. 南会津中荒井地区の概要.....	3
3. 平成 28 年度の活動日程.....	4
4. 中荒井地区内での活動詳細.....	5~7
(1) 第一回 平成 28 年 6 月 4 日 (土) 鳥獣用電気柵の視察	
(2) 第二回 9 月 1 日 (木) 森林の楽校への参加	
2 日 (金)	
(3) 第三回 10 月 1 日 (土) 森づくりワークショップ	
2 日 (日)	
(4) 第四回 12 月 23 日 (金) マップ計画の打ち合わせ、中荒井地区名所見学	
24 日 (土)	
(5) 第五回 平成 29 年 1 月 22 日 (日) ツアー計画の打ち合わせ	
23 日 (月)	
5. 地区外での活動詳細.....	8~10
(1) 平成 28 年 9 月 18 日 (日) 風とロックでのわりばし販売	
19 日 (月)	
(2) 10 月 27 日 (木) 福島民報社への如活祭の取材協力	
(3) 11 月 19 日 (土) 地域活動報告会、ACF 報告会	
(4) 平成 29 年 2 月 18 日 (土) 地域づくりオープンカフェ	
6. その他の活動詳細.....	11
7. 今年度の活動の成果と反省点.....	12
8. 今年度の活動を踏まえての地域活性化案.....	13~16
(1) 中荒井地区マップ作成	
(2) 中荒井観光ツアーの計画・運営	
(3) 地域づくりオープンカフェでの意見交換から見えた改善点	
9. おわりに.....	17
10. 参考資料.....	18

1. はじめに

私達、国立大学法人福島大学とげっちょ組～地域活性化サークル～（以下、とげっちょ組）は、福島大学割り箸から環境を考える会（以下、わりかん）を前身とし、平成 28 年度に発足されたサークルである。福島をよく知りたい、福島の為に何かしたい。各々の目的を胸に集まったメンバーは現在男子 7 名、女子 5 名の計 12 名で、わりかんの活動に引き続き、中山間地域である南会津中荒井地区の活性化を目的として取り組んできた。とげっちょ組の名前の由来は、中荒井地区に生息する絶滅危惧種の淡水魚、背びれにトゲのあるトゲウオ科イトヨの南会津地方での方言呼び「とげちょ」をもじったものだ。とげちょのように地元の方に愛され、自分達の活動が中荒井地区に末永く根付いてくれることを期待して名付けられた。（なお、表紙に用いたイラストは、サークルメンバーが作成したとげっちょ組のシンボルマークである。）

この報告書はわりかんからの調査を元に、今年度の実証実験の報告と活性化への案を示すものである。

2.中荒井地区の概要

平成 28 年 1 月 1 日時点での南会津中荒井地区の概要について記載する。

南会津中荒井は福島県の南西、国道 121 号線沿いに位置する。近くには今後浅草や新宿とも路線が開通予定である私鉄の会津鉄道がある。

地域は河川段丘上にあり、東西にわたって山が連なっている。また、西側には日本海へと流れる阿賀野川がある。人口は男性 184 名、女性 180 名、全体で 364 名。高齢化率は 39.9%となっている。名産としては地酒、水稻、トマトやアスパラガスといった季節の野菜がある。歴史的な面では江戸時代に長崎で培った医学を活かし庶民のために尽力した如活禅師（じょかつぜんじ）ほか、縄文時代の土器も出土している昔の人々の営みを垣間見れる貴重な地域だと言える。

このような特色を持つ中荒井で前年度活動を行った印象として、自然の豊かさや地域住民の温かな雰囲気といった良い点が多くある一方で、少子高齢化が進行、後継者の不足などの理由から農地管理が困難となっている現状。さらには県内外においての中荒井地区の知名度の低さ、交流人口の少なさといった多くの中山間地域が抱える問題を同様に抱えている。

3. 平成 28 年度の活動日程

表 1 は平成 28 年度にとげっちょ組が実施した活動の日程を示したものである。

表 1 平成 28 年度に実施した活動日程

	日時	活動内容
*第一回	平成 28 年 6 月 4 日 (土)	鳥獣用電気柵の視察
第二回	9 月 1 日 (木)	森林の楽校参加 (1 年生のみ)
	9 月 2 日 (金)	
	9 月 18 日 (日)	風とロックわりばし販売
	9 月 19 日 (月)	
第三回	10 月 1 日 (土)	森づくりワークショップ 1 日目 午前 中荒井地区見学 午後 ワークショップ 夕食会
	10 月 2 日 (日)	
	10 月 27 日 (木)	福島民報社への如活祭の取材協力
	11 月 19 日 (土)	地域活動報告会 ACF 報告会
	12 月 23 日 (金)	中荒井地区訪問 ・マップ計画の打ち合わせ ・中荒井地区名所見学
	24 日 (土)	
第五回	平成 29 年 1 月 22 日 (日)	中荒井地区訪問 ・ツアー計画の打ち合わせ
	23 日 (月)	
	2 月 18 日 (土)	地域づくりオープンカフェ

*中荒井地区で行われた活動のみ、番号を用いた。

4. 中荒井地区内での活動詳細

(1) 第一回 平成28年 6月4日(土) 鳥獣用電気柵の視察

- ・場所 : 南会津町中荒井地区 如活墳墓周辺の森林
- ・出席者 : とげっちょ組3名
中荒井地区区長
- ・内容 : 今年度から害獣による被害が多発した為に設置された鳥獣用電気柵の視察
新規メンバーと地域住民との顔合わせ



写真1 鳥獣電気柵見学の様子

(2) 第二回 9月1日(木)、2日(金) 森林の楽校への参加

- ・場所 : 中荒井地区集会センター、あたご共同製作所
- ・出席者 : 9月1日…大学関係者10名、中荒井区長、地区住民数名
9月2日…大学関係者10名、中荒井区長、地区住民数名
- ・内容 : 9月1日…間伐体験
森林についての学習会
郷土料理作り
9月2日…あたご共同作業所でのわりばし作り見学、作業所利用者との交流など

(3) 第三回 10月1日(土)、2日(日) 森づくりワークショップ

- ・場所 : 中荒井地区集会センター周辺
- ・出席者 : 10月1日…中荒井区長、沼田準教授、大学関係者7名、地区住人11名
10月2日…沼田準教授、大学関係者7名
- ・内容 : 10月1日…中荒井地区見学
中荒井地区の現状についての講演会
森林の活用法についてのワークショップ
夕食会・交流会
10月2日…博物館見学
田島祇園会館見学



写真2 森林見学の様子



写真3 ワークショップの様子

(4) 第四回 12月23日(金)、24日(土)

マップ計画の打ち合わせ、中荒井地区名所見学

- ・場所 : 南会津町中荒井区長宅
- ・出席者 : 中荒井区長、役員3名、南会津町地域おこし協力隊1名、とげっちょ組2名
- ・内容 : 中荒井地区マップ計画の打ち合わせ
地域おこし協力隊の方の中荒井地区案内



写真4 打ち合わせの様子

(5) 第五回 1月22日(日)、23日(月) ツアー計画の打ち合わせ

- ・場所 : 中荒井区長宅
- ・出席者 : 中荒井区長・福島大学とげっちょ組2名
- ・内容 : 中荒井地区ツアー計画の提案・意見交換

5. 地区外での活動詳細

(1) 平成 28 年 9 月 18 日 (日)、19 日 (月) 風とロックわりばし販売

- ・場所 : 白河市しらさかの森スポーツ公園
- ・参加者 : 9 月 18 日…沼田準教授、大学関係者 14 名、ACF 2 名、福島民報社 2 名
9 月 19 日…沼田準教授、大学関係者 14 名、ACF 2 名、福島民報社 2 名
- ・内容 : 中荒井地区産の間伐材わりばしの販売
使用済みわりばしの回収



写真 5 販売ブースの様子 1



写真 6 販売ブースの様子 2

(2) 10月27日(木) 福島民報社への如活祭の取材協力

- ・場所 : とげっちょ組サークル室
- ・参加者 : 福島民報記者数名、とげっちょ組数名
- ・内容 : 福島民報社への如活祭の紹介
取材協力
写真提供



写真7 実際に掲載された記事

(3) 11月19日(土) 地域活動報告会

- ・場所 : 郡山女子大学
- ・参加者 : 中荒井区長、とげっちょ組3名
- ・内容 : 今年度の活動報告(ワークショップの成果等)他

ACF(アカデミアコンソーシアム福島)報告会

- ・場所 : 郡山市 ビックアイ7階 大会議室
- ・出席者 : 沼田准教授、とげっちょ組2名、福島民報社記者1名
- ・内容 : 風とロックでの企画・運営についてを主としたとげっちょ組の活動報告

(4) 平成 29 年 2 月 18 日 (土) 地域づくりオープンカフェ

- ・場所 : 福島市杉妻会館 4 階 牡丹の間
- ・出席者 : 沼田準教授・中荒井区長・福島大学とげっちょ組 3 名
- ・内容 : 今年度の活動報告



写真 8 地域づくりオープンカフェ後の集合写真

6. その他の活動詳細

- ・ 宣伝用パネルの作成

とげっちょ組の活動をより分かりやすく伝えるために、福島民報社協力の下、「中荒井地区」「あたご共同作業所」「間伐材わりばし」という三つのテーマでパネルを作成した。

作成されたパネルは、風とロックでの間伐材わりばし販売所や地域活動報告会といった場に展示し、多くの人の注目を集め、中荒井地区を知ってもらうきっかけ作りに大いに役立った。

7. 今年度の活動の成果と反省点

成果

- ・南会津のわりばし販売や森づくりにより、各種報告会・新聞を通して外部へ中荒井地区のことを発信することができた。
- ・実際に中荒井へ何度も足を運ぶことで、本来の中荒井の姿を見つめ、地域住民と踏み込んだ議論ができた。
- ・学生のとげっちょ組メンバーが地域に入り込むことで、地元住民に良い刺激を与え、地元について改めて考えてもらうことができた。
- ・年齢や立場の異なる様々な方との交流によって、多くの知識、見解を得ることで、中山間地域の活性化への糸口を見つけることができた。

反省点

- ・今年度は如活祭などの地域行事にあまり参加することが出来なかった。
- ・開設したとげっちょ組ホームページの継続的な更新が出来なかった。
- ・それぞれの準備期間が長く、やれたことが少なかった。

8. 今年度の活動を踏まえての地域活性化の企画案

これまでの活動実績を踏まえて、とげっちょ組が提案したい案はふたつである。ここで順をおって説明する。

(1) 中荒井地区マップ作成

まずは今年度の活動日程にもあった、中荒井地区マップ作成について、以下の企画書によって説明する。

表1 中荒井マップ作成の企画書

企画動機	南会津中荒井地区の特色をより多くの人に知って貰う為に、とげっちょ組が出来ることは何か。
コンセプト	<ul style="list-style-type: none">・ 県外からの観光客だけでなく、南会津に馴染みのない県民の方にも、中荒井地区に関心を持ち、実際に足を運んでもらいたい。・ とげっちょ組には、今年度からサークルに所属した新規メンバーが多くいるため、この企画を通してとげっちょ組メンバー自らも中荒井についての知見を深め、今後の活動にいかしていきたい。・ 地元の方々もマップ作成に参加してもらい、学生と住民との距離を縮める共に、住人の方々が中荒井の良さを再確認し、ふるさとに誇りを持って生活できるようにしたい。
マップの仕様	<ul style="list-style-type: none">・ A4サイズ 三つ折り(予定)・ 三つ折りにした際、内側を中荒井の地形をベースとして、名所・特産品をイラスト付きで紹介。外側を、3等分した1面分を表紙、残り2面分にピックアップした名所・特産物を扱う店舗の料金、連絡先を写真付きで記載。最後にとげっちょ組や地元のマップ作成協力者の紹介。
頒布について	<ul style="list-style-type: none">・ 頒布場所については中荒井駅や会津若松駅などの周辺の駅、小中学校に設置してもらえるよう交渉する。・ 印刷冊数は500冊を予定。

次ページへ続く。

作業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・インターネット、雑誌、新聞などのメディア媒体を用いての南会津中荒井地区の情報収集 ・実際に中荒井地区に足を運んでの、フィールドワーク。(この際、現地の人にガイドの協力を要請し、役所や学校などに聞き込み。マップ掲載用の名所・特産品の写真撮影も同時に行う。) ・マップのデザイン・文章内容の検討・決定 ・地元の学校へマップ掲載用のイラストの募集。並びにその為の宣伝ポスター作成・掲載依頼。
イラスト募集についての補足	<p>マップ内側の名所・特産品紹介のイラストを、フリー素材などを用いるのではなく、中荒井をよく知る学生の柔軟な感性を發揮したイラストを扱うことで、他にはない味のあるマップに仕上がることが期待される。また、学生達が自分のイラストが採用されたことで、マップを手にとり、早い段階でふるさとについて考えるきっかけを提供することにもつなげられる。</p>
日程（仮）	<ul style="list-style-type: none"> ・4～6月 <ul style="list-style-type: none"> メディア媒体・フィールドワークでの情報収集 マップのラフ作成 イラスト募集のポスター作成 ・7～8月 <ul style="list-style-type: none"> イラスト募集 マップの構成・文章のより具体的な打ち合わせ 頒布場所の交渉・確保 ・8月下旬 <ul style="list-style-type: none"> 使用イラスト決定 マップの最終デザイン決定 各関係者との最終打ち合わせ ・12月～ <ul style="list-style-type: none"> マップの頒布 報告書作成、ならびに報告会での成果発表

(2) 中荒井観光ツアーの計画・運営

続いて、もうひとつの企画案、中荒井観光ツアーの計画・運営の詳細について、以下の報告書にて説明する。

表2 中荒井観光ツアーの企画書

企画動機	中荒井地区の強み、地酒と多様な歴史を活かしてもっと地域をPRできる方法はないだろうか。
コンセプト	<ul style="list-style-type: none"> ・県内外への中荒井地区の知名度を高める。 ・ツアーによって中荒井に魅力を感じてもらい、リピーターを増やしていき、最終的には定住してもらうことを目指す。
キャッチコピー	深い歴史と旨い日本酒を入り口とした中荒井地区への招待
ターゲット層	<ul style="list-style-type: none"> ・酒や歴史に興味のある大学生 ・時間的、金銭的に余裕が生まれてくるシニア世代
ツアー開催時期	10月頃予定（如活祭に合わせるため）
集合場所	中荒井集会センター付近
参加募集人数	20名程度
募集手段	<ul style="list-style-type: none"> ・とげっちょ組 twitter ・ACF（アカデミアコンソーシアムふくしま）のHP ・福島民報新聞
当日スケジュール（仮）	<p>1日目</p> <p>10:30～ 受付</p> <p>11:00～ 中荒井の地区紹介ならびに交流会</p> <p>12:00～ 昼食</p> <p>13:00～ 中荒井散策（酒造見学、利き酒を予定）</p> <p>15:00～ 郷土料理作り体験</p> <p>18:00～ 夕食会</p> <p>2日目</p> <p>9:00～ 宿泊施設を出発</p> <p>10:00～ 如活祭見学</p> <p>13:00～ 南会津お土産館にて買い物</p> <p>15:00～ 中荒井駅解散</p>

(3) 地域づくりオープンカフェでの意見交換から見えた改善点

以上地域活性化案として提案した(1)中荒井マップ作成、(2)中荒井観光ツアーの企画・運営について、地域づくりオープンカフェに参加ののち見えてきた改善点は、より自分たちの地域の特色を深く理解し、それを武器にできるマップ作り、あるいはツアー企画をしなければいけないという点だ。たとえば、とげっちょ組と同様に地区のマップ作りを行いたいと発表した、西会津下野尻へ入り込んでいる上越教育大学伊藤研究室に対して、地区にある石割り桜と同じような桜の全国マップを作成してみてもどうかという提案があった。このように、内部外部からの様々な意見を取捨選択し、本当に自分たちの地域に固有の資源を見つけ、磨き上げることが、地域活性化には必要不可欠である。

また、地域の特産を用いたオリジナル商品の開発も行っていくべきだとも感じた。あんぼ柿のワイン漬けやジャージー種の乳を使った乳製品といった、他にはない一品を作り上げるのが、今後の地域の活性化に大いに影響してくると、今回の地域作りオープンカフェのそれぞれの素晴らしい発表を耳にして痛感したためだ。

これらのことに気づくことができた、この有意義な時間を与えてくださった各方面関係者様に感謝し今後の活動へといかしていきたいと思う。

9. おわりに

今年度は、昨年度までの「わりばしから環境を考える会」から「とげっちょ組～地域活性化サークル～」として、気持ちも新たに福島県庁の「大学生の力を活用した集落支援事業」の2年目の活動に取り組んできた。今年度の活動を通じて、集落活性化のためにはやはり私たちが実際に集落に入り、継続的に活動していくことが重要であると感じた。

過疎化や高齢化などの問題は深刻であるが、それは地域の住民や行政が地域おこし協力隊など地元の様々な立場の方が主役として取り組まなければならない課題であり、私たちにできることは少ないように思う。

私たち大学生にできるのは、集落と外部をつなげるための情報発信やイベント開催などの外部の方が中荒井地区を訪れるための「きっかけ作り」であり、そのための活動を継続・発展させていくことではないだろうか。中荒井地区と関係のない人々に地域の存在を知ってもらい、実際に来てもらうにはどうするかを考えたとき、そのためには外部の方に実際に地域に来てもらえるような「きっかけ作り」が必要であるという結論になった。そのきっかけは、会津地方の気候や風土、住民の人柄であるかもしれないし、日本酒などの特産品や豊富な歴史資源であるかもしれない、と考えた。そうした経緯があつて、「中荒井のお酒と歴史を巡るツアー」を企画することになった次第である。このように集落のために何ができるのかを考えながら様々な企画を立案し、実行していく中で、多くの方に中荒井地区を知ってもらい、実際に来てもらうだけでなく、興味をもってくれた方を巻き込んでより大きな活動にしていきたい。

私たち「福島大学とげっちょ組～地域活性化サークル～」は、まだ歴史の浅いサークルではあるが、今後も地域と密接に関わりながら、様々な団体と協力していくことで中荒井地区の集落活性化をはじめとして、精力的に活動していくことで福島県全体の発展に貢献していきたいと考えている。来年度の福島県庁の「大学生の力を活用した集落復興支援事業」では、今年度の反省を踏まえ、より良い活動にしていくために、集落活性化に全力で取り組んでいく所存である。

今後とも、ご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願いたします。

以上で報告とさせていただきます。

10. 参考資料

- ・南会津中荒井区 平成 26 年 3 月 なかあらい地域活性化（元気づくり）企画書
～じよかつ禅師ゆかりの里づくり～
- ・南会津中荒井区 平成 28 年 3 月 学との交流（福島大学・南会津中荒井区）報告書